



当日スケジュール

<午前>

①「ダンボールコンポスト」（低学年）
やまぐちエコ倶楽部

②「竹細工」（高学年）
流しそうめん台組、竹箸、竹容器作り
竹林ボランティア山口

<午後>

③「竹細工」竹トンボ作り（男子）
竹林ボランティア山口

④「手芸教室 プラバン」（女子）
中崎先生

⑤「お楽しみ会」紙飛行機飛ばし大会、
チャンバラごっこ（けっこう本格的）



参加者

子ども：23名
住民ボランティア：7名
講師：11名
運営スタッフ：5名

氷上地区はもともと「寺子屋（夏休みの子どもの学びと遊びを提供する場）」を独自の方法でやっている地域でした。その寺子

屋とさぼらんてがコラボする形で氷上でのコドモジカンが実現しました。昼食作りはいきいきサロンのメンバーに、お楽しみ会は寺子屋メンバーにと特技を活かしてたくさんのスタッフが関わったコドモジカンでした。世帯数が700超えのマンモス地区の氷上は広報も大変。スタッフがコドモジカン申込書専用のポストを手作りし公民館に設置し回収しました。



お楽しみ会の進行役は、中学1年のお兄ちゃん。昨年まで小学生だったとは思えない堂々とした進行振りでした。



昼食作りはいきいきサロンの方々。ご飯を炊いたり、そうめんを茹でて流しやすくクルクル巻いたりしていただきました。その数100束分！ごちそうさました。

来年、再来年とコドモジカンプロジェクトを積み重ね、人のつながりの環＝地域力を強めることができれば、ここで暮らせて幸せと思えるような地域にきつ々しくなると思います。
自分の地区でもやってみたいと思われた方、是非さぼらんてにお手伝いさせてください。

山口市市民活動支援センターさぼらんて 〒753-0047 山口市道場門前 1-2-19

TEL 083-901-1166 FAX 083-901-1165 メール saporant@c-able.ne.jp

さぼ HP



さぼらんて
かわら版

地域版コドモジカン
プロジェクト特別編

平成28年10月発行

地域版コドモジカンプロジェクト活動報告

～地域の資源（自然・人材・文化）を活かした

地域の人による 地域の子どもを育むしくみづくり～

長い夏休み、子どもたちにお弁当を置いて、お母さんは仕事へ・・・「その間、子どもたちは何をして時間を過ごしているの？」「長期休みはゲームばかりして家でゴロゴロ」。保護者からのこのような現状を聞き平成26年度より、さぼらんてでは「子育て・子育ち」をテーマに、子育て支援者や教育機関関係者、行政職員が一堂に会し交流会や円卓会議を行ってきました。その中で見えてきたのが「子どもたちの居場所の減少」「地域の大人たちの関係性の希薄化」という課題でした。

そして、それらの課題を解決するためにどのような環境づくりが必要か、大人はそこにどう関わるべきか、具体的な解決策を話し合い「コドモジカンプロジェクト」を立ち上げました。このプロジェクトは、地域の宝である子どもたちが、より豊かなコドモジカンを過ごせるように、遊びと学びを備えた居場所づくりと、地域で「子育ち」を見守る文化醸成を応援するもので、地域に根差すことを目指しています。



コドモジカンプロジェクトの2つの特徴



- ①会 場 が 近 い・・・子どもたちが徒歩や自転車で行ける「地区の公民館」が会場です。
- ②見守る人が顔見知り・・・地区運営スタッフ、ボランティアが近所のおじちゃんおばちゃん、おにいちゃんおねえちゃんなので、子どもたちの安心感が違います。

宿題や工作を公民館でするだけがコドモジカンではありません。子どもの居場所を作るだけが目的でもありません。子どもたちの活動をあたたかく見守る地域のまなざしこそが最大のウリです。

大内地域の問田、小野、氷上からスタートした地域初のコドモジカンプロジェクトの様子を振り返ります。

問田地区

7月29日（金）

当日の詳しい様子→



当日スケジュール

<午前>

①「護身術とAEDの取り扱い」

ALSOK 山口 株式会社

<午後>

②「木工教室」本立て（男子）

株式会社 なるしょう 成 匠

③「押花教室」うちわ作り（女子）

のどか
すろーふーどらいふ山口ネット 和
白木美和先生



問田地区の特色は子ども会のお母さん方の絆。子ども同士はもちろんお母さん方のつながりも強く、コドモジカンや夏祭りの準備等、チームワークでこなす力は一朝一夕で築かれたものではありません。プロジェクト地区リーダーのフットワークの軽さや、きめ細やかな心遣いでみんな気持ちよく活動が出来ました。



朝早くから、男性スタッフが汗だくになって、テント2張り立てました。



お昼は、全員そろってお弁当。なぞなぞをしたり、怪談話をしたりとリラックスタイム。奥の部屋ではお母さんがその様子を見守っています。この時間が大切なんです！！



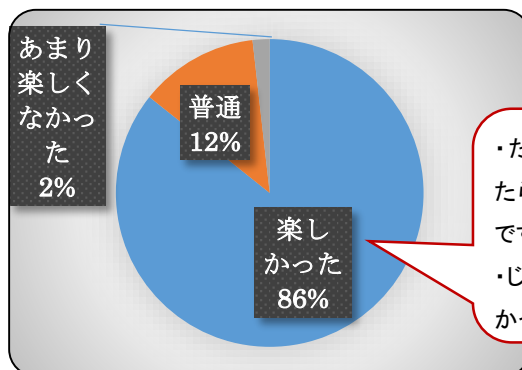
参加者

子ども：17名
住民ボランティア：5名
講師：9名
運営スタッフ：7名

アンケート

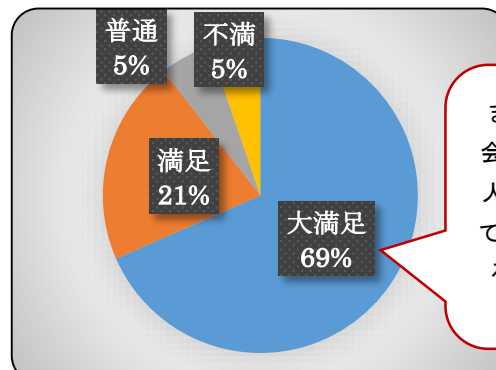
3地区のコドモジカンプロジェクトアンケート結果

児童満足度（計48人）



・たのしかったのでまたらいいんもいきたいです
・じかんをのばしてほしかったです

スタッフ満足度（計20人）



またこのような機会を通して、多くの人が一緒に活動して、子どもたちにいろいろなことを経験させたいです

小野地区

8月9、10日（火、水）

当日の詳しい様子→



当日スケジュール(1日目)

<午前>

①「宿題教室」算数と理科

路傍塾講師陣

<午後>

②「紙コップで工作」ロケット&けん玉（低学年）

地域おたすけターミナルメディエーター大学生

③「科学工作」偏光板（高学年男子）

野崎先生（路傍塾）

④「押花教室」壁かけ作り（高学年女子）

白木美和先生（路傍塾）



参加者

子ども：のべ39名
住民ボランティア：5名
講師：14名
運営スタッフ：4名

当日スケジュール(2日目)

<午前>

①「竹で作ろう」竹トンボ&水鉄砲

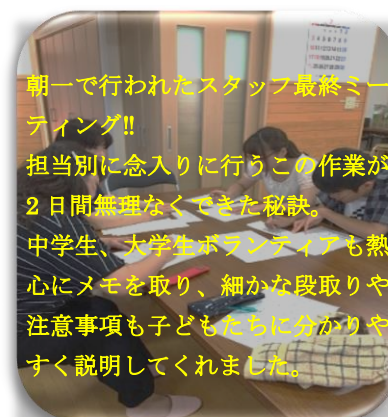
久津摩先生 &
小野地区有志のおじちゃん

<午後>

②「絵画教室」木の描き方

Deko アトリエ
望月先生、片山先生

小野地区は、既存の子ども会行事のひとつと置き換える運営方法で実施し、お母さん方を無理なく巻き込むことが出来ました。各プログラムごとに担当者（進行役）を決め、一度に3つのプログラムもこの方法でスムーズに出来ました。進行役を地域の大学生、中学生にしたことで子どもたちもリラックスできスタッフの負担も減り一石二鳥。これからのコドモジカンにこの手法を取り入れていきたいと思いました。



朝一で行われたスタッフ最終ミーティング!!
担当別に念入りに行うこの作業が2日間無理なくできた秘訣。
中学生、大学生ボランティアも熱心にメモを取り、細かな段取りや注意事項も子どもたちに分かりやすく説明してくれました。



小野地区のおじちゃんたち自ら竹の切り出し！水鉄砲と竹トンボ、用途に応じて3種類の竹を取りに・・・竹を取りに行く途中に出会う子どもたちはみんなおじちゃんたちと顔見知り。昔はよく見られたこういう光景、良いですね♪